

<開会点鐘>

みなさんこんばんは。先週からまた明日から台湾、週末は韓国と忙しくしておりますが、皆様、御協力ありがとうございます。地区の役員の方もいらっしゃってくださってありがとうございます。只今から第 34 回目の例会を始めさせていただきます。

<会長挨拶>

先日は日曜日から火曜日夜遅くまで、台湾台北の菁華ロータリークラブを訪問してまいりました。一行 10 名ということで行きましたけれど、空港の出口には豪華ベンツが 5 台並んでおりまして、2 人ずつしか乗ってはいけないということで、2 人ずつベンツに乗りホテルに直行しました。

翌月曜日はゴルフ組と観光組に分かれまして懇親を深めてまいりました。そして特に驚きましたのは、新北市は台北よりも人口が多いところで、元日本軍の功労の跡と言いますか開発の跡が感銘深く記念碑として祀られてある所が沢山ありました。

火曜日は例会が 12 時から 12 時半まで食事、12 時半から例会が始まりました。台湾は 2 時間ほど例会を行っているそうです。日本は 1 時間ぼっきりでよく親睦が保てるなあ、というふうなことを疑問に思っておられるようでした。私共は 30 分で食事をして、30 分で卓話を終えて 1 日の例会としておりますと申しました。ロータリーソングも手拍子、足拍子をしながらかけていまして、東京ドームでアメリカンフットボールのチアガール応援をしているようで、ユニークで楽しい例会を見せていただき、我々も自己満足している場合ではないと思いました。

当クラブの紹介をしましたところ、まず「中国語をしゃべれる会員が 12 名おり、女性の会員が 12 名おります」とお話ししたら、非常にびっくりした顔をしておられて、「日本の東京のど真ん中で、よくそんなクラブがございませぬ」と。女性の社会進出は閉鎖的な日本、東京においてもわがクラブは先頭に立っており、女性のいないクラブを撲滅する運動をやることも、ポリオ撲滅と併せて大事ではないかと思えます。とにかく撲滅、撲滅ということで、うちの地区も石頭と言っただけではないので、30 クラブほど地区内にそういうクラブがあるんですね。

私が台湾の例会で、女性解放運動をもっと日本は進めなければいけないと申しましたところ、全員が総立ちで拍手をしました。それくらい台湾は非常に進んでいる。半分くらいの会員さんが女性で、いろいろなご商売をされております。経営者でいらっしゃるのでゴルフもされます。お酒も飲まれます。それからカラオケも歌われる。スピーチも上手です。男女交互に会長さんを務めるようなクラブでもあるのです。そういう社会進出を歓迎しながら明日のロータリークラブを考えていきますと、さて日本は、東京はどうあるべきかという気持ちを持ってまいりました。

昨年度、台湾のゲリー・ファンさんが国際会長で、来年新しい地区を 3 つ作るそうです。東京・神奈川を合わせた位の国で、人口は 2,300 万人位ですが、10 個地区で 10 人のガバナーが誕生します。参考までに東京・神奈川で 4 地区 4 ガバナーなのです。

2580 地区もその分割される地区と姉妹地区なのです。それを鑑みて我々は友好クラブを作り、親睦を図り友好の花を咲かせようではないかと思ってやっているのです。

東京にも「ゲリー・ファン」さんみたいな優秀で強力な指導者が出てくると 1400~1500 名が所属する、40~70 名くらいのクラブが所属しているクラブがどんどん誕生してくる。日本のために東京のためになるのではないかと考えております。

私共クラブもまだ 50~60 名というのは道半ばでございます。先日のガバナー訪問のときに「100 名、200 名、300 名にするのだ」と申し上げました。そうすることがロータリアンの使命なのです。ロータリーには、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国内奉仕等の分野がございまして、そういうことをわかっていませんと決して増強はできません。増強というのは一番難しい役目・奉仕なのです。何故かわかりますか、皆さん！入会金をもらわ

なければいけない。年会費をもらわなければいけない。お金をもらう役目なのですよ、増強というのは。他のところは違うのです。配るのは簡単です。誰でも配れます。何も勉強しなくても配れるのです。しかし集めるのは難しいのです。うちのロータリー財団委員長の鄭さんが今 7,700ドル集めております。そして 8 名のポールハリスフェローを誕生させているのです。集めるのは難しいのです。頭も下げなければいけない。そしてロータリー財団のことを詳しく説明できないといけない。「集めたお金は有効に使っております。皆様のためになる、社会のため、世のためになります。是非今日一杯飲みに行くのを止めて協力してください」というようお願いしないと誰も協力してくれません。

私共のクラブはできたばかりのクラブですから、ロータリー財団においてもポールハリスフェローは誰もいませんでした。豊田さんと私くらいです。でも豊田さんはもう一口やってくれました。今年度目標にあと 2,300ドル。そしてポールハリスフェローはあと二人。この目標を必ず達成して、ガバナー、そして地区の役員さんに御恩返しをしなければいけないのだ。これを使命と思っております。

また先ほど理事会がございますけれども、次年度役員に推挙するに当たって、また決定するに当たって、まず出席を重視しよう。来ないような人を選んではいけない。そういうことが強く意見として出ておりますので、その事も併せて、「出席あらずんば、役員にあらず」という気持ちを第一に持っていただきたい。併せて寄付のほうも他の役員さんよりも多少寄付ができる人。ポールハリスフェローになれる人。米山に寄付できる人が新しい会長になり、役員になっていただきたい。

役員になった以上は、それくらいのことはやり遂げないといけない。人よりも先にやらないといけない。人の手本にならないといけないのです。増強にしてもそうです。うちのクラブは 1 ヶ月間に一人状のお友達を連れて来る事を目標にしております。誰とは申しませんが胸に手を当てて、自分はまだやっていないと胸が痛む方は、来月でも再来月でも結構です。月に一人、新しい友達を呼んでくる。そういうことを実行していただきたいと思います。

また増強という作業を行なうにあたっては、ロータリーの良さ、他のクラブとは違うロータリークラブの良さがわかっていないと誰も入ってくれません。ロータリーって何なの？何をしているクラブなの？老人クラブではありません。未来に輝く光を集め、放つクラブです。そのところをよく頭に叩き込まれて、増強するために知識を持つ。商売で言えば商品知識と一緒に。自分のところの建築のブロックは何だとか、セメントは何だ、サッシの厚さは何ミリだとか、商品知識がなくて建物の仕事などできるわけがないのです。

ロータリーの増強もそうです。ロータリーの知識がないと。ロータリーの良さがわかってないと。わかっているだけでなく、人に伝える気持ちがフレッシュでないと、誰も説得できません。我々は自分自身がクラブにとってお客さんではないのです。いつも迎える立場で食事をし、お話をするというのを頭に入れてください。

今年はあとはクリスマス例会の 17 日を残すのみで 2~3 週間の休みとなりますが、そのへんをとにかく胸にぐっと飲み込んでいただいて、御苑RCの応援に御協力いただきますようお願い申し上げます、私の言葉といたします。